

YRS
ユアーズ

横浜
ラポール
聴覚障害者
情報提供施設

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェブ

第220号

トピックス

新年度を迎えて

令和 8 年度を迎えるにあたり、日頃より当施設の事業にご理解とご協力をいただいている皆さまに、心より感謝申し上げます。

以下、令和7年度の状況についてご報告します。

昨年度は、東京 2025 デフリンピックの開催をきっかけに、手話への関心が大きく広がりました。この流れをしっかりと地域に根づく取り組みとして継続していくことも、今後の大きな目標と思っています。

事業では、手話通訳・要約筆記の派遣事業、研修事業、普及啓発事業のいずれにおいても、多くの皆さまにご利用いただきました。公式 LINE「らぼらいん」では、毎週の動画配信や緊急情報の発信を継続し、利用者の皆さまから「必要な情報が届きやすくなった」との声を多くいただきました。また、研修事業では、基礎から応用まで幅広い内容を実施し、スキルアップ研修ができました。

- ◆ 通訳派遣・研修事業：派遣・紹介人数は、手話通訳10,686 人(令和 6 年度:11,045 人)、要約筆記 1,284 人 (令和 6 年度:1,416 人)、総合計 11,970 人(令和 6 年度:12,461 人)となり、手話は前年比 98%、要約は 91%となりました。遠隔通訳の利用数は、計 62 件(令和 6 年度:80 件)でした。通訳体制について：非常勤手話通訳者は 80 人、登録手話通訳者は 86 人、要約筆記者 81 人でした。
- ◆ 聴覚障害者相談事業：令和7年度も訪問、同席、同行などにより積極的に取り組み、「聞こえの相談」99 件を含む、遠隔対応を含めた総相談対応のべ件数は 1,468 件(令和 6 年度 1,247 件)となりました。
- ◆ 普及・啓発事業：講師派遣、出前講座をはじめ、若年層の手話学習者の増加を目的とした取り組み、情報提供施設の利用促進活動に取り組んだ他、聴覚障害者のための「健康学習会」、「聞こえない聞こえにくい社会人のための講座」を行い、合計 56 件、のべ 1,432 人の参加となりました。
- ◆ 養成事業等への協力：令和6年度から横浜市要約筆記者登録試験と試験対策講座の主管となり、7 年度も無事終了することができました。試験対策講座は手書き・パソコンそれぞれ計4回実施(延べ 17 人受講)し、登録試験合格者は5人(手書き1人、パソコン4人)でした。手話は(一社)横浜市聴覚障害者協会が実施する手話奉仕員及び手話通訳者養成事業に協力し、令和 7 年度横浜市手話通訳者登録試験の合格者は 4 人でした。

今年度は指定管理 4 期の最終年度であり、次の 5 期に向けて応募を行う大切な一年でもあります。これまで積み上げてきた事業をしっかりと形にし、より良いセンターづくりにつなげていきたいと考えています。皆さまにとって、より身近で頼りになるセンターとなれるよう、職員一同努めてまいります。

本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



事業報告

令和8年度手話通訳者・要約筆記者 事業連絡会

4月19日(日)の午後、標記連絡会をオンラインにより開催しました。出席者は181人でした。この連絡会は手話通訳者・要約筆記者と当施設職員が、新年度の組織(通訳者・情報職員)体制、派遣事業に関する状況、研修計画、通訳業務に関する留意点を確認する場として、年度当初に毎年実施しています。

横聴協の小島天理事長、浜難聴の須山優江会長のご挨拶後、施設長より派遣事業に関する令和7年度の国・神奈川県・横浜市の状況説明等を行いました。その後、通訳業務に関する説明や、報告書の書き方の留意点等、ほかにも研修事業として1年間の研修計画について派遣担当職員から説明を行いました。

新年度の通訳者体制は、手話通訳者170人(非常勤84人、登録86人)、登録要約筆記者82人です。今年度も引き続き、事業の円滑な運営に努めてまいりたいと思います。よろしくお願いたします。

若年層を対象とした講演



捜真女学校高等学部3年生の希望者の皆様を対象に、全3回の連続講座「①手話・要約筆記ってなに?(1月28日)」「②聴覚障害者と対応のポイント(2月18日)」「③コミュニケーション実践(2月25日)」を開催し、当施設職員が講師を務めました。

聴覚障害者の聞こえ方や接し方のポイントを学び、実技では手話を用いた自己紹介を繰り返し練習しました。受講した生徒の皆様が、手話を通じて当事者の方々と心を通わせ、さらには手話通訳の道に興味を持つ一助となることを願っております。

第4回手話通訳者全体研修会(手話・要約筆記合同研修)

2月28日(土)に埜田和史氏(びわこリハビリテーション専門職大学教授)をお迎えし「手話通訳者の頸肩腕障害基礎知識」をテーマにオンラインによる研修を行いました。手話通訳者に関わる頸腕症候群について基礎的な知識を学ぶとともに、実際の事例を通して労災として認定されるまでの経過や取り組みについて理解を深めることができました。通訳活動においては、専門性の向上だけでなく、自身の健康管理を意識することの重要性を改めて認識しました。

聞こえの相談交流サロン

3月6日(金)、難聴者・聞こえにくい方・その家族対象の「聞こえの相談交流サロン」を実施し、14人の方にご参加いただきました。「難聴者の体験談を聞いてみよう」と題し、横浜市中途失聴・難聴者協会から2人の方にご協力いただき、ご自身の体験談や周囲への伝え方の工夫などをお話いただきました。以下、参加者の感想をご紹介します。

「聞こえにくいことは自分から言わないと分からないと知れた」「自分と共通の悩みがあると知り、ホッとした」「司会の方のコメントが勉強になった」

令和8年度は、当事者同士が情報交換や交流できる場として、より気軽にお立ち寄りいただけるような企画を検討中です。お気軽にお問い合わせください。



要約筆記者現任研修実施報告

1月14日(水)の要約筆記者現任研修では、桜美林大学准教授の谷内孝行先生をお招きし、「対人援助技術」をテーマに、要約筆記者(手話通訳者)のメンタルヘルスや、「障害とは何かを考える『障害平等研修』」の体験、合理的配慮の考え方について学びました。(手話通訳者の聴講もあり)

研修をとおり、対人援助職として、社会に存在する「障害(社会モデル)」を見抜く視点(メガネ)をもつこと、そしてそのメガネを磨き続けることの大切さを学びました。また、要約筆記・手話通訳者は「障害(社会モデル)」を取り除くこと、そのものの役割を担っているとお話に、責任の重さを感じるとともに、やりがいを感じた参加者も多かったのではないかと思います。

2月18日(水)の研修は、「ピアグループスーパービジョン(PGSV)」を実施しました。初めての経験で「指示や指導的に言い方、経験談はNG」というルールに戸惑いをみせる参加者もいましたが、事例報告者の行動や心理に寄り添い、共感しながら質問することで、報告者も参加者も自分自身の力を高めることに繋がっていると嬉しく思います。

令和8年度も、より現場に即した研修を行っていきたいと思います。

参加報告

関東ろうあ者相談員連絡会

3月19日(金)、リフレッシュ氷川(東京都)にて、第3回 関東ろうあ者相談員連絡会が開催され、当施設から職員3人が参加しました。東京聴覚障害者支援事業所支援員の大森めぐみ氏を講師に迎え、「聴覚障害者の就労について」と題して事業所の業務内容(就労移行支援事業・就労定着支援事業、計画相談等)についてお話いただきました。事例をもとにグループワークを行い、また会場近くの東京聴覚障害者支援事業所も見学しました。今回の内容を、今後の当施設事業に生かしていきたいと思います。

普及・啓発 出前講座・講師派遣

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 10月23日(木)日下地域ケアプラザ | 10月30日(木)保土ヶ谷区仏向地域ケアプラザ |
| 11月6日(木)東本郷地域ケアプラザ | 11月10日(月)保土ヶ谷区役所地域振興課 |
| 11月26日(水)青葉区さつきが丘粋生きクラブ | 12月3日(水)都筑区新栄地域ケアプラザ |
| 12月16日(火)保土ヶ谷区保土ヶ谷地域ケアプラザ | 12月17日(水)中区役所職員研修 |
| 1月16日(金)ブリヂストン横浜工場 BSDP | 1月22日(木)日限山地域ケアプラザ |
| 2月4日(水)保土ヶ谷区今井地域ケアプラザ | 2月25日(水)泉区上飯田地域ケアプラザ |
| 3月10日(火)いずみ野地域ケアプラザ | 3月19日(木)ウェルビー新横浜駅前センター |



上記団体から依頼を受けて、講師を派遣しました。聴覚障害者対応のポイントやコミュニケーション実践を中心に、通訳者の派遣制度や、NET119やアプリ110、電話リレーサービスなどについても説明しました。また、「聞こえの出前講座」では難聴の仕組み、補聴器についてなども説明しました。) 興味のある方は、普及・啓発担当へご連絡ください。

【普及・啓発】 rapo-keihatsu@yokohama-rf.jp

～職員の変動～

- | | | |
|-------------|-----------------|------------------|
| 【退職者】3月31日付 | 保科 隼希(ほしな としき) | :非常勤職員 派遣事業担当 |
| | 原 恵子(はら けいこ) | :非常勤職員 受付・遠隔通訳担当 |
| 【新採用】4月1日付 | 菅沼 和子(すがぬま かずこ) | :非常勤職員 受付・遠隔通訳担当 |





(令和7年度)

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	R6年度	相談事業	実件数	延べ件数
医療・保健	5,238	129	5,367	5,549	医療	78	217
司法	23	8	31	27	職業	39	149
教育・保育	708	37	745	717	教育	1	2
労働・雇用	456	7	463	484	住宅	34	78
社会生活	977	26	1,003	1,147	生活	273	596
自己啓発	330	14	344	212	福祉	174	290
福祉推進	1,164	1,024	2,188	2,284	法律	16	37
介護保険	1,719	37	1,756	1,984	聞こえ	91	99
他都市	71	2	73	57	合計	706	1,468
合計	10,686	1,284	11,970	12,461	R6年度	634	1,247
R6年度	11,045	1,416	12,461				

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作 ()はR6年度

手話研修	回数	27(26)	参加人数	867(749)	自主制作作品数	68(58)
筆記研修	回数	28(27)	参加人数	560(583)		

■遠隔手話通訳事業

■普及・啓発事業

区	件数	区	件数	区	件数	派遣先	派遣件数	参加人数
鶴見	0	西	1	栄	19	講師派遣	5	261
神奈川	7	南	0	旭	4	出前講座	21	466
港北	0	港南	1	戸塚	4	若年層啓発	9	139
緑	2	金沢	0	瀬谷	2	情報利用促進	8	170
都筑	12	磯子	0	泉	0	その他	13	396
青葉	0	中	3	保土ヶ谷	7	合計 (R6年度)	56 (35)	1,432 (1,058)
				市庁舎	0			
件数合計				62 (80)				

■視聴覚機器の貸出

物品名	保有数	貸出件数	物品名	保有数	貸出件数
スクリーン	6	62	OHC	5	97
ヒアリンググループ	2	2	ブルーレイディスクレコーダー	1	6
液晶プロジェクター	7	149	PC文字通訳用機器	6	258
テープレコーダー	1	7	PC文字通訳用機器個人用	2	25
ビデオカメラ	1	15	合計(R6年度)		621 (675)



3月

- 2 横浜市立ろう特別支援学校高等部 卒業証書授与式出席
- 6 聞こえの相談交流サロン
- 10 出前講座(いずみ野地域ケアプラザ)
- 12 ラポール職員研修
- 12-13 手話通訳士専門研修受講 (国立障害者リハビリテーションセンター学院)
- 13 関東ろうあ者相談員連絡会参加(東京都)
- 16 新規非常勤手話通訳者説明会(オンライン)
- 17 事業PR(浜難聴理事会)

- 18 聴覚障害者災害対策救援 横浜市域本部会議出席
- 19 出前講座(ウェルビー株式会社 新横浜)
- 23 衛生委員会
- 26 区役所配置通訳説明会(オンライン)

4月

- 1 新採用職員辞令交付
- 1-3,6 新採用職員研修(事業団)
- 7 横浜市立ろう特別支援学校入学式出席
- 14 ラポール職員研修
- 14 事業PR(横浜市中途失聴者コミュニケーション教室)

- 15 意思疎通支援委員会会議(オンライン)
- 19 登録新人オリエンテーション
- 19 手話通訳者・要約筆記者事業連絡会(オンライン)
- 21 要約筆記者1年次研修
- 26 事業PR(浜難聴例会)
- 27 J-TALK体験会
- 27 ラポール新人職員研修
- 27 衛生委員会
- 28 要約筆記者1年次研修

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日:令和8年4月27日
 発行者:(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設
 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL.045-475-2057 FAX.045-475-2059
 ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>